

平成 23 年 7 月 29 日  
第 25 期東京都立図書館協議会

## 平成 22 年度東京都立図書館自己評価に対する意見

第 25 期東京都立図書館協議会は、第 1 回定例会（平成 23 年 6 月 29 日開催）において、東京都立図書館が 12 の主要事業について実施した「平成 22 年度東京都立図書館自己評価」に対し、意見を述べた。

各委員からの主な意見は、以下のとおりである。

### 1 全体について

- ・ 2 年前と比べると、広報関係のツールや、館内の表示関係も分かりやすくなっている。ミニ展示のような小さなサイクルで回っているものもうまく機能している。江戸や東京に関する独自のコンテンツを大きな軸にして都立図書館の特徴を強く打ち出すとともに、その時々展示などを組み合わせることでよい。
- ・ 22 年度は想定していた目標が基本的に達成されたことが実績でよく分かる。第 1 段目の充実が図られたので、23 年度は、次のステップに向かう転換点になるのではないかと。

### 2 評価の方法について

- ・ 満足度の数値が少数点 2 桁まで記載されているが、標本数や調査の精度を踏まえて記載した方がよい。
- ・ レファレンスサービスの件数と情報リテラシー支援の件数を分けているのであれば、情報リテラシー支援の件数についても、いずれは指標として挙げてよいのではないかと。
- ・ リニューアルや震災など、特別な事情が生じた場合には、数値に影響があるので、今後、1 日当たりや 1 利用者当たりなど、数値の取得方法を工夫した方がよいのではないかと。

### 3 事業別評価について

#### (1) 事業 1 タイムリーな企画展等の実施

- ・ 都立図書館で行っている企画展示について、地元の図書館にレプリカを展示できるようにしたり、デジタルで見られるようになればよいのではないかと。
- ・ 都立図書館の展示において地域の資料も扱っていただければありがたい。
- ・ 都立図書館のホームページに、展示のブックリストを掲載すると、利用者

が知りたい情報を入手しやすくなるのではないか。また、区市町村立図書館の協力支援にも繋がるのではないか。

**(2) 事業2 インターネットの活用① インターネットによる情報の発信**

- ・ ホームページのアクセス数や満足度が伸び悩んでいるとの評価がなされているが、良いウェブサイトづくりができていればトップページのアクセス数が落ちる場合もあるので、評価の仕方をもう少し慎重にした方がよいのではないか。
- ・ ホームページのページ数が減少しているが、ホームページの更新に当たっては、過去に何を取り組んできたのか分からなくならないよう、過去の情報を保存しておいた方がよい。

**(3) 事業7 子供の読書活動の推進と学校教育活動への支援**

- ・ 大学生でも図書館の使い方わかっていない人がいる。読書活動推進のほかに、図書館リテラシーの支援という観点も考慮してもよいのではないか。